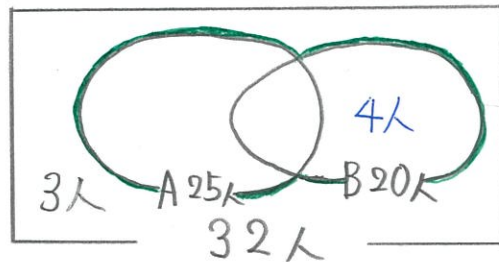


1から学ぶ中学受験算数 ～第11回集合算①～

氏名：

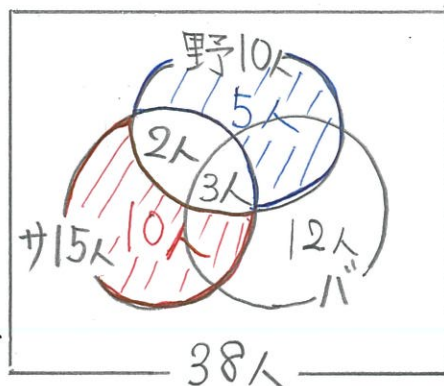
解答・解説

- 例1 32人のクラスでAとBの2問のテストをしたところ、Aができた人は25人、Bができた人は20人、どちらもできなかった人は3人でした。どちらもできた人は何人いますか。



$$32 - 3 = \underline{29} \text{人 (AかBどちらか出来た人)}$$
$$29 - 25 = \underline{4} \text{人 (Bだけ出来た人)}$$
$$20 - 4 = \underline{16} \text{人 (どちらも出来た人)}$$

- 例2 38人のクラスでアンケートをとったら、野球が好きな人が10人、サッカーが好きな人が15人、バスケットボールだけ好きな人が12人、3種目とも好きな人が3人、野球とサッカーの2種目だけ好きな人が2人でした。このとき、3種目とも好きでない人は何人いますか。



$$10 - (2 + 3) = \underline{5} \text{人}$$
$$15 - (2 + 3) = \underline{10} \text{人}$$
$$5 + 2 + 3 + 10 + 12 = 32 \text{人 (少なくとも1種目は好き)}$$
$$38 - 32 = \underline{6} \text{人 (3種目とも好きでない)}$$